



運動公園陸上競技場の施設をご紹介します！

令和6（2024）年度にオープンする陸上競技場についてどのような施設ができるのか、主な特徴を皆さんにご紹介します。



日本陸上競技連盟第3種公認（予定）

陸上競技大会等で樹立された記録が公式な記録として認められる陸上競技場であることを認定する制度（日本陸上競技連盟による公認制度）があり、**本町の陸上競技場は第3種公認の施設となる予定です。**公認の種別（第1種～第4種）によって開催できる大会等の種類が分かれており、**第3種は県大会など広域規模の大会等を開催することができます。**

トラックは1周400m×8レーン！

専用の素材で舗装（全天候型フルウレタン舗装）された1周400mのトラックを8レーン備えています。

ホームストレート（100m走などの短距離走を行うトラック・直走路）は9レーン備えているのに加え、**風向きに応じて走る方向を選択できる（逆走可能な仕様）**となっており、本町の陸上競技場の特徴的な仕様となっています。

インフィールドは人工芝！

インフィールドは投てき競技（砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投）に対応した人工芝（105m×68m）を採用しています。

陸上競技場では珍しい仕様となっており、**東海地方では2例目となる予定です。**人工芝なので芝の養生期間（施設が使えない期間）が不要となるため、**季節を問わず一年中利用することができます。**

サッカー、ラグビー、グラウンド・ゴルフ… 陸上競技以外の利用も可能！

「陸上競技場」ではありますが、インフィールド（人工芝）では**サッカー、ラグビー、グラウンド・ゴルフなどといった陸上競技以外の競技でも利用することができます。**

また競技でなくても、トラックでは**普段のウォーキングやランニングなどでも気軽に利用することができます。**

ナイター照明も完備！

陸上競技場の4方向にLED照明を設置しているので、夜間でも安心して快適に利用することができます。

★陸上競技場でどのようなことができるのか、行われるのかは、今後ご紹介していきます！



推進室 Instagram



運動公園HP



スポーツでつなぐ、美浜の未来
Be a Challenger!